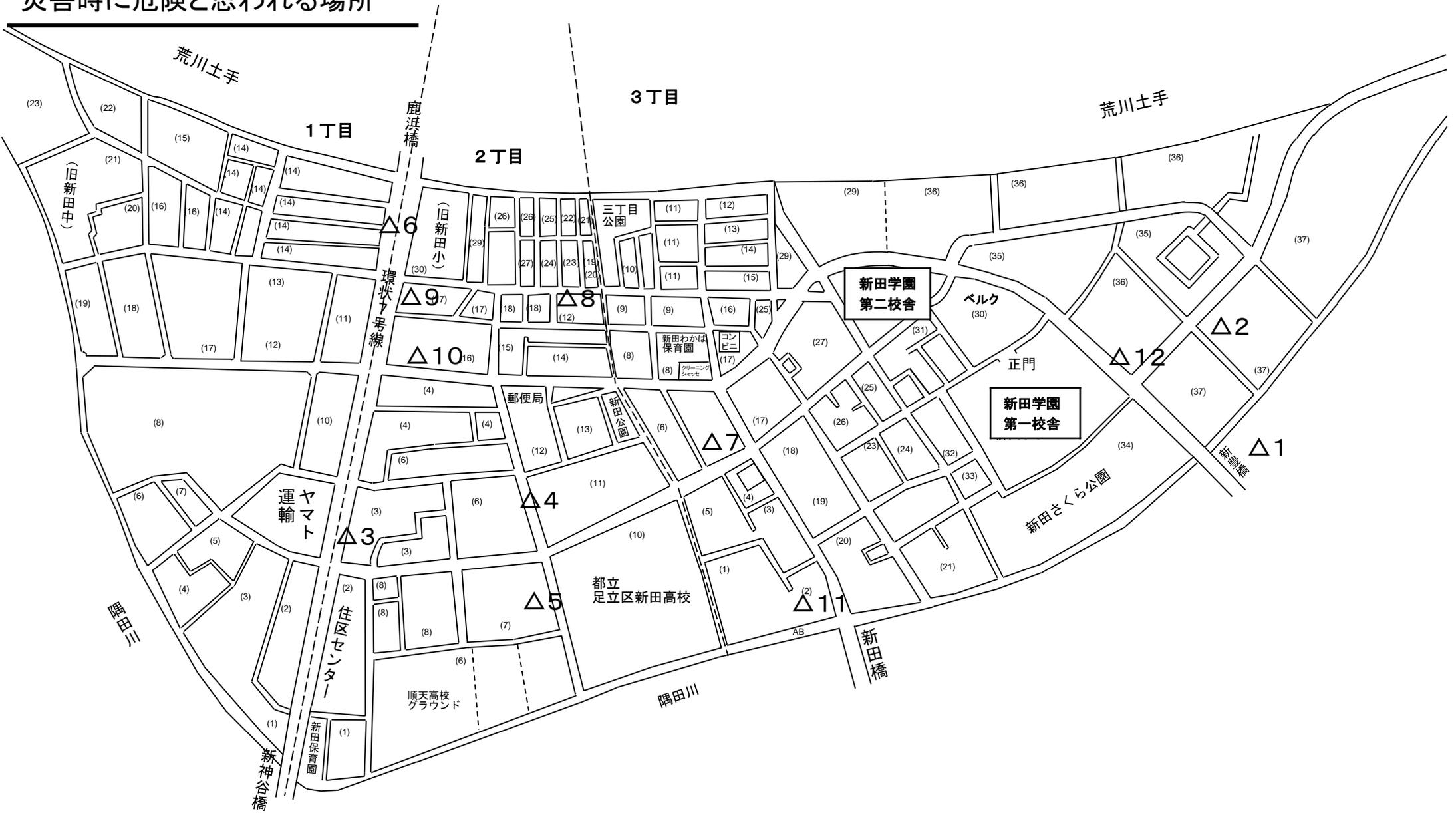


# 災害時に危険と思われる場所



# 災害時に危険と思われる場所

△ 1	川沿いの歩道が津波の時に危険。
△ 2	マンションの窓ガラスが割れる危険性。
△ 3	歩道橋の耐久性に問題あり。
△ 4	ブロック塀
△ 5	通学路の逆側にあるコンクリートの壁が古く傾いている。
△ 6	陸橋の下
△ 7	住宅が密集していて倒壊等が心配。
△ 8	歩道と住宅が近い。歩道が狭い。
△ 9	ブロック塀が傾いている。
△ 10	王子段ボール会社とマンションに挟まれているので地震等で建物が倒壊した場合、危険。
△ 11	建物の倒壊の危険性がある。
△ 12	建物内のオブジェが災害時に倒れていた。今は修復してあるが今後心配。

# 保護者・地域・教職員から出された改善案

- \* 登下校の人員の強化。地域や保護者の協力を得て行う。
- \* 地震時には、車がないことを確認して道のまん中に行く。電柱の近くも避ける。
- \* 「子ども110番」のステッカーが古くなっているので、新しい物を貼り直す。
- \* ベルクに誘導員を依頼する。
- \* 津波の際の指導を行う。
- \* 「できるだけガードレール内を歩く・建物側を歩く・よそ見をしない・1列にまっすぐ歩く」など、学校・家庭で繰り返し話す。
- \* 「とびだし注意」「徐行」「通学路」などの表示看板の設置
- \* 見通しの悪いところは、植栽を減らす。
- \* 街灯を多くする。
- \* 登校時間帯は、スクールゾーン都市通行止めとする。
- \* 各色の保護者が当番制で見回り、見守りをする。
- \* 見守りボランティアの数を増やす。
- \* 環七の交差点は交通量も激しく事故多発のため、一層の注意喚起をする。
- \* 警察や区の巡回パトロールを強化する。